



| | |
|------|-----------------------|
| 氏名 | TK |
| 所属 | 現代システム科学域 マネジメント学類 |
| 学年 | 4年 |
| 留学先 | SEP (マラヤ大学) |
| 留学期間 | 2024/08/18~2024/09/08 |

留学レポート Study Abroad Report

私は夏休みの3週間を通して、マレーシアのマラヤ大学 SEP に参加しました。今回の留学は私にとって初めての海外で、かつ初めての留学だったため、不安が大きく出発の前日は2時間ほどしか眠ることができませんでした。しかし、このマレーシアで過ごした3週間は私の大学生活で最も充実した期間であり、勇気を出して一歩踏み出し、留学に行ってもよかったと心から思っています。この留学レポートでは、留学を決めた理由やマラヤ大学での授業内容、マレーシアの生活などについて書きます。

〈マレーシアに留学を決めた理由〉

理由は2つあり、1つ目は高校生の頃から大学生になったら留学に行きたいと考えていたからです。私が大学入学した当時、新型コロナウイルスが世界的に蔓延しており留学に参加できる状況ではありませんでした。2年次はサークル活動に積極的に参加していたため留学に行く時間を作ることができず、3年次は就職活動に追われていました。そして4年次で、就職活動を終え、大学生活でやり残している留学に参加したいと考えていた際、このプログラムを見つけました。初めての留学をする私にとって、大学のプログラムで安心であるし、3週間という期間もバディ制度も魅力的に感じました。2つ目は就職先がグローバル企業であるからです。私の就職する企業は自分で希望すれば海外研修や海外転勤が可能であり、私も海外で働いてみたいと考えていたため、就職する前に一度海外に行き、海外の生活を経験し海外の文化を学びたいと考えていました。

〈授業について〉

私の参加した SEP では、Grammar、Reading、Writing、Speaking の4つの授業がありました。平日の午前中に2時間1コマの授業を2コマ行っていました。授業を行うクラスは、マラヤ大学で行われるオープニングセレモニーの後にテストを受け、その結果でクラスのレベルが均一になるようにクラス分けされました。全ての授業が英語で行われるので、聞き取り、理解することが難しいこともありましたが、わからないことはクラスメイトに聞くことができるので心配することはないと思います。また、私

OMU Students 海外留学レポート

は日数を重ねる度に先生の英語が聞きとれるようになり、スムーズに英語が話せるようになったため、自分の成長が感じられ楽しく授業を受けることができました。

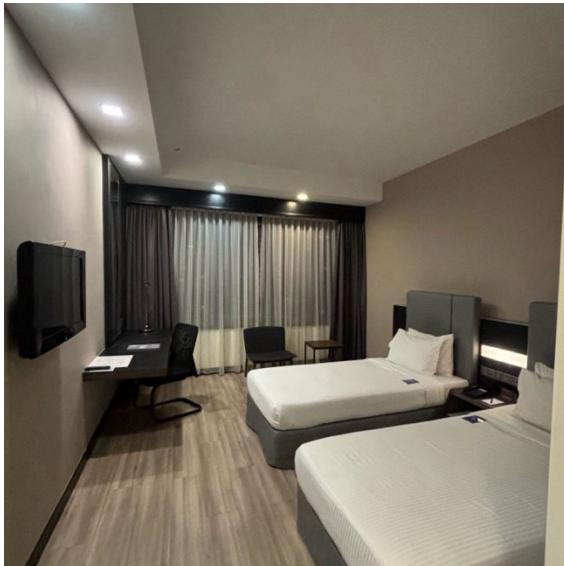
〈生活について〉

● 学校生活

午前中は授業を受け、午後は日替わりで伝統音楽/ダンスまたは Trip を行いました。伝統音楽/ダンスは、クロージングセレモニーで発表するもので、音楽かダンスのどちらかを自分で選択できます。私は音楽を選択し、マレーシアの伝統楽器を演奏しました。音楽の先生がいるため一から教えてくださり、音楽を選択したメンバーで仲良くなれ、練習も本番も楽しかったです。Trip は、マレーシアの観光地のツインタワーやピンクモスクに行ったり、美術館に行ったりとマレーシアの文化を学ぶことができました。

● 宿泊施設

3週間を通してホテル・アーマダ・プタリン・ジャヤというホテルに宿泊しました。2人1部屋で比較的きれいだったことと十分な広さがあったため、快適に過ごすことができました。ルームメイトは、他大学の人が選ばれているように感じました。実際、私のルームメイトは静岡大学の2回生で、普段一人暮らしをしているため当初は不安がありましたが、お互いにその日あったことを話すことができ、2人部屋でよかったと感じることが多かったです。SEPに参加する日本人とマラヤ大学のバディは全員同じホテルに泊まっていたため、ロビーで一緒に夕食を食べたり、バディの部屋でパーティーをしたりできました。また部屋はユニットバスで、もちろん浴槽はなくシャワーのみで疲れが取れにくかったため、疲労回復シートなどを持っていくと良いと思います。



● 食事

マレーシアは他民族国家のため、マレーシア料理、インド料理や中華料理を楽しむことができ、時々日本料理も食べることができました。マレーシア料理は基本的に辛いものが多く、特に私は辛いものが得意ではないので現地の人が辛いものが多いというものも辛いということもありました。もちろん辛い料理もあるので、うまく選択すれば美味しく食べるすることができます。平日の朝食や昼食は大学でプログラム参加者とバディの全員で食べていました。最初は日本食との違いが大きく順応できるか不安を感じましたが、だんだんと慣れていくので心配しなくて大丈夫だと思っています。メニューは毎日異なっておりマレーシア料理が多く、イスラム教は豚肉が食べられないため、鶏肉が多かったです。ご飯はタイ米なので日本米と違いパサパサですが、1週間ほど経つと美味しく感じるようになりました。夕食はグループごとにショッピングモールなどへ外食に行ったり、ホテルでデリバリーしたりしました。バディに食べたいものを伝えればそのお店に連れてくれますし、バディおすすめのお店はどこもとても美味しいので、食事を満喫することができました。また日本食が恋しくなった時には、ショッピングモールに日本のチェーン店があったり、ホテルの近くに業務スーパーがあったりするため日本食を食べることもできます。



OMU Students 海外留学レポート



● 休日の過ごし方

土曜日は、プログラム参加者とバディ全員でバスに乗り遠出していました。1週目はマレーシアの観光地の一つであるマラッカへ行き、2週目はマレーシアの独立記念日の当日だったため、中心部はパレードが行われており、田舎に行きマレーシアの伝統工芸教室や料理教室に参加しました。日曜日は基本的にはグループごとで行動しており、グループ全員で行きたいところを話し合っ行って先を決めていました。私たちは、1週目は他のグループと合同でナイトテーマパークに行き、2週目はブルーモスクに行きました。

● その他

治安については、バッグを前に持つなどといった基本的な防犯をしておけば、盗まれるということはないと思いますし、周囲から物が盗まれたということは聞きませんでした。ですが、友人からチャイナタウンでバッグを触られたと聞いたので常に注意しておく必要はあると思います。物価については、基本的には日本より安く、特に食費は安かったと感じました。ですが日本の商品は少し高いように感じました。

〈留学を終えて思うこと〉

第一に思うことは、このプログラムに参加してよかったということです。このプログラムに参加しなければ出会えなかった人たちに出会い、3週間の1日1日が思い出に残るものとなり、日本にいる時には味わえない様々な経験をすることができました。また、英語力を確実に伸ばすことができました。最初



Osaka
Metropolitan
University

OMU Students 海外留学レポート

は緊張もあり、伝えたいことがあっても英語の言い回しが思いつかないことや、英語が聞き取れないことが多く、友人に頼ってばかりでしたが、日数を重ねるごとに英語がスムーズに話せるようになり、長時間集中力を切らさず英語を聞き取れるようになりました。

もし、留学するか悩んでいる人がいれば、このプログラムを強くお勧めします。私自身英語がほぼ喋ることができない状態で参加し、また初めての留学でしたが、一生の思い出に残る経験ができたため、少しでも興味があれば勇気を出して一歩踏み出してみてください。